

## 平成30年第2回定例会9月議会 発言通告一覧表

市議会の本会議は、どなたでも自由に傍聴できます。通常、本会議は午前10時から開催されます。傍聴される方は議会棟3階傍聴者ロビーへ直接お越しください。発言内容の詳細については、次ページ以降をご覧ください。

### 発言順位

#### 9月14日(金)

(1)	三好	宏	議員	(真誠会)	.....P	1
(2)	尾倉	あき子	〃	(公明党)	.....P	3
(3)	永井	俊作	〃	(未来市民)	.....P	4
(4)	宮坂	祐太	〃	(民主連合)	.....P	6
(5)	寺井	吉広	〃	(真誠会)	.....P	8

#### 9月18日(火)

(6)	絹川	和之	〃	(公明党)	.....P	9
(7)	中西	礼皇	〃	(未来市民)	.....P	11
(8)	尾仲	利治	〃	(民主連合)	.....P	12
(9)	松井	久美子	〃	(公明党)	.....P	14
(10)	丸谷	聡子	〃	(未来市民)	.....P	15

#### 9月19日(水)

(11)	国出	拓志	〃	(公明党)	.....P	18
(12)	北川	貴則	〃	(未来市民)	.....P	19
(13)	楠本	美紀	〃	(日本共産党)	.....P	21
(14)	家根谷	敦子	〃	(スマイル会)	.....P	23
(15)	大西	洋紀	〃	(青風会)	.....P	24
(16)	辻本	達也	〃	(日本共産党)	.....P	25

※ 順位については予定です。

平成30年第2回定例会9月議会発言通告一覧表

(代表質問)

発言順位	1	議員名	三好 宏 (真誠会)
発言事項	<p><b>1 平成29年度決算全般について</b></p>		
	<p>(1) 平成29年度一般会計決算の総合評価について                      (要旨) 平成29年度一般会計決算は、歳入が4.5%減、歳出も4.0%減で、平成26年度以来3年ぶりの減となっている。また、実質収支は約6.5億円で42年連続の黒字となっているが、財政基金及び減債基金の取り崩しを除くなどした実質的な単年度収支は、3年ぶりの赤字で約4.2億円の赤字という結果を踏まえ、その評価を問う。</p> <p>(2) 地方交付税の状況について                      (要旨) 地方交付税の不足分を補う臨時財政対策債の発行額は、44.6億円となっているが、地方交付税の財源不足の状態が慢性化し、臨時財政対策債の発行が常態化している現状について、市の見解を聞く。</p> <p>(3) 減収補てん債について                      (要旨) 臨時財政対策債とともに、9.6億円の減収補てん債(特例分)を発行しているが、発行に至った経緯とその認識を聞く。</p>		
<p><b>2 市役所新庁舎整備の検討状況と再開発による新庁舎整備について</b></p>			
<p>(1) 市役所新庁舎整備に向けた検討状況について                      (要旨) 市役所新庁舎整備については、昨年度より市議会において特別委員会を設置するなど、整備に向けた検討を進めているところであるが、現在の検討状況について問う。</p> <p>(2) 市街地再開発事業による新庁舎整備の検討について                      (要旨) 候補地の一つである明石駅周辺について、市民の利便性や業務の効率性に加えて、中心市街地のさらなる活性化の観点から、明石駅前再開発ビルとアスパア明石に挟まれたエリアの再開発による新庁舎整備を検討してはどうか。</p>			

発言順位	1	議員名	三好 宏 (真誠会)
発言事項	<p><b>3 「B-1グランプリ全国大会」の開催について</b></p> <p>(1) 「B-1グランプリ全国大会」の開催について</p> <p>(要旨) 本市は2019年には市制施行100周年の節目を迎えることから、その記念事業の一環として「B-1グランプリ全国大会」の本市開催を決定した。全国大会では、昨秋に開催した「2017西日本B-1グランプリ in 明石」の約2.5倍となる60以上の団体の出展が見込まれ、来場者は2日間で40万人が想定される。相当な混雑が予想されるが、西日本大会の検証結果をどう生かしていくのか。そして、検証を踏まえた全国大会の基本コンセプトをどのように考えるのかを聞く。</p>		
	<p><b>4 平成30年度明石市ふるさと納税について</b></p> <p>(1) 明石市ふるさと納税の現状と今後の対応について</p> <p>(要旨) 地元企業や関係団体と連携して、明石の特産品や地元企業の製品といった「明石のたからもの」を全国に発信し、明石の応援団をふやすとともに、本市が進める特色あるまちづくりの財源を確保するため、本年7月2日から「明石市ふるさと納税」が刷新されている。</p> <p>平成28年のふるさと納税による明石市から他市町への流出額は5億2,496万円という残念な結果となっている。このたびの大幅なりニューアルにより、特設サイト等でのPRや、地域SNSでの発信、主婦層を対象にしたダイレクトメール配信など、新しい積極的な広報を展開する中で、現状とふるさと納税がピークを迎えると予想される秋から冬に向けてのさらなる対策を聞く。</p> <p>また、子育て施策の強化や、やさしいまちづくりなど、特徴ある6つの応援プランを用意しているが、その実績と評価を聞く。</p>		

発言順位	2	議員名	尾倉 あき子 (公明党)
発言事項	<p><b>1 認知症施策の推進でやさしい地域づくりを</b></p> <p>(1) 認知症施策の取り組みについて  (要旨) 本市が取り組む認知症の早期発見、早期対応にかかる事業の実施状況について聞く。</p> <p>(2) 認知症サポーターの現状と (仮称) オレンジリンク事業について  (要旨) 認知症サポーターの現状と来年度から実施される予定の認知症の人とその支援に取り組む認知症サポーターとのマッチングを行う (仮称) オレンジリンク事業について市の認識を聞く。</p> <p>(3) 条例制定など今後の展開について  (要旨) 今後の認知症施策を推進する手段として、条例制定などを検討してはどうか。</p> <p><b>2 学校園のさらなる環境整備として特別教室と幼稚園にエアコンの設置を</b></p> <p>(1) 学校園のエアコン設置状況について  (要旨) 平成30年度中に市内の小中学校普通教室へのエアコン設置が完了する予定であるが、その進捗状況と特別教室及び幼稚園の現状について聞く。</p> <p>(2) 学校園のさらなる環境整備として小中学校特別教室と幼稚園にエアコンを設置しないか。  (要旨) 今年の夏は記録的な猛暑であった。授業等にも影響を及ぼすことから、今後、小中学校の特別教室と幼稚園にもエアコンを設置しないか。</p>		

発言順位	3	議員名	永井俊作(未来市民)
発言事項	<p><b>1 第2子以降の保育料の無料化と幼保給付費等の増加について</b></p> <p>(1) 第2子以降の保育料の無料化と幼保給付費の増加について  (要旨) 保育料の無料化が保育需要を喚起した結果、幼保給付費が増加し、経常収支比率が悪化する要因になっている。  第2子以降の保育料の無料化の対象である0歳から5歳までの年齢ごとの子どもの人数と、無料化による保育需要の拡大に伴う保育所の新設・増設費用や人件費、保育士確保のための費用など、本市の負担がどの程度増加したのか聞きたい。</p> <p>(2) 幼保給付費抑制と無料化施策の見直しについて  (要旨) 政府が3歳から5歳までの幼児教育と保育の無償化の方針を発表した際に、所得制限の導入など、本市の無料化施策の見直しを検討したのか。</p> <p><b>2 地域総合支援センターと地域ケア会議について</b></p> <p>(1) 地域ケア会議の設置及び運営状況について  (要旨) 地域総合支援センターごとに設置される地域ケア会議については、どのような形で開催しているのか。</p> <p>(2) 地域ケア会議を活用したケアマネージャーの質の向上について  (要旨) 高齢者の課題解決を通じた実践力の向上など、地域ケア会議を活用したケアマネージャーの質の向上のための取り組みを聞きたい。</p> <p>(3) 地域ケア会議と住民との情報の共有について  (要旨) 地域ケア会議で示された地域課題について、地域住民とどのように共有していくのか。</p> <p>(4) 地域における支援体制について  (要旨) 今後、地域ケア会議を活用し、高齢者への適切な支援や、地域の居場所づくり等の担い手の育成などの資源開発をどのように図っていくか。</p> <p><b>3 ごみの減量推進と地球温暖化対策について</b></p> <p>(1) ごみ焼却と地球温暖化に関する認識について  (要旨) ごみ焼却と地球温暖化に関する認識について聞きたい。</p> <p>(2) ごみの減量推進と分別収集推進について  (要旨) 分別収集をもっと進めるべきと考えるが、ごみ減量の達成状況と今後の目標を聞きたい。</p>		

発言順位	3	議員名	永井俊作(未来市民)
発言事項	<p>(3) ごみの減量とごみ埋立処分場の延命化について  (要旨) ごみ埋立処分場はあと何年もつのか。延命化についての取り組みと考え方を聞きたい。</p> <p>(4) 大阪湾フェニックス計画について  (要旨) 近畿2府4県の自治体等が出資する大阪湾広域臨海環境整備センターの処分場も近い将来には受け入れの限界を迎えると聞くが、今後の見通しを聞きたい。</p>		

発言順位	4	議員名	宮坂 祐太(民主連合)
発言事項	<p><b>1 平成29年度決算における基金について</b></p> <p>(1) 平成29年度中の基金の積み立てと取り崩しについて  (要旨) 本市では、平成29年度9月補正予算で財政基金5億2,000万円の積み立てを行いながら、平成29年度決算では財政基金および減債基金から5億5,000万円の取り崩しを行っています。一見するとイレギュラーな対応のように感じますが、このような対応に至った要因についてお伺いいたします。</p> <p>(2) 特別会計等財政健全化基金について  (要旨) 平成29年度決算における基金残高約86億円については、財政基金、減債基金、特別会計等財政健全化基金のいわゆる「3基金」の合計額が指標として採用されています。このうち、特別会計等財政健全化基金は本市独自のものであるため、他の自治体との基金残高の比較の際には指標として採用されていません。設置条例からは詳細を把握することが難しい同基金について、この間、基金残高が大きく減少している点と今後の見通しについてお伺いいたします。</p> <p>(3) 基金残高と地方交付税について  (要旨) 国において地方公共団体の基金残高の増加を理由とする地方交付税削減の議論が行われています。平成29年度決算の「3基金」合計で約86億円の基金残高を抱える本市では、基金積み立ての理由として、災害等の不測の事態に備えることはもとより、社会保障関係経費の増大や、景気の動向による法人関係税等の変動に対応するためとしています。国における議論に対する市の見解をお伺いいたします。</p> <p>(4) 今後の基金残高について  (要旨) 基金残高については、平成27年3月に策定した明石市財政健全化推進計画の収支見込みから改善が図られている状況にありますが、「基金の積み立て状況等に関する調査結果」では、今後の基金残高の増減見込みについて、本市は全基金「分からない」と回答しています。現状において平成35年度における目標値である「3基金」の合計残高70億円を確保できていることに安心せず、目標値には含まれていない一般廃棄物処理施設整備基金や庁舎建設基金等も含め、引き続き残高の確保に努める必要があると思っております。市の見解をお伺いいたします。</p>		

発言順位	4	議員名	宮坂 祐太(民主連合)
発言事項	<p><b>2 医療費適正化について</b></p> <p>(1) 保険者努力支援制度を踏まえた医療費適正化の取り組みについて  (要旨) 国の医療費適正化基本方針に基づき、兵庫県では本年度より医療費適正化計画の第3期計画期間がスタートし、同じく本市においても本年度よりデータヘルス計画の第2期計画期間がスタートしています。こうした中、国が各地方公共団体の医療費適正化に向けた取り組み状況を点数化し、点数に応じた財政支援を行う保険者努力支援制度が本年度より本格的に実施されています。本市においては、平成28年度前倒し分で県下41市町中30位であったものが平成30年度分では同10位と、取り組みが進んでいるように見えます。ついては、その要因分析並びに今後の取り組みについてお伺いいたします。</p> <p>(2) 特定健診等実施計画を踏まえた医療費適正化の取り組みについて  (要旨) 特定健診受診率や特定保健指導実施率の向上は、医療費適正化に向けた取り組みを推進する上で極めて重要な要素です。本市における特定健診受診率は年々向上し、全国や県の値との乖離も縮まりつつありますが、依然として低い状態に変わりはありません。本年度から計画期間がスタートしている第3期特定健診等実施計画では、第2期計画と比べて格段に高い数値目標を設定していますが、目標達成に向けた取り組みについてお伺いいたします。</p> <p>(3) 在留外国人の国民健康保険適用の不適正事案について  (要旨) 医療費適正化に向けた取り組みを推進する上で、甚大な悪影響を及ぼしかねない事案ですが、厚生労働省からの要請も踏まえた、本市における実態把握と未然防止のための取り組みについてお伺いいたします。</p> <p>(4) 医療費適正化の取り組みの推進体制について  (要旨) 医療費適正化に向けた取り組みを推進するに当たっては、国民健康保険課が主管課となりながらも、あかし保健所や高年介護室、障害福祉課や長寿医療課等の庁内関係部署はもとより、医師会等の関係機関とのネットワークの構築が必要不可欠であろうと思います。推進体制の構築に向けた今後の取り組みについてお伺いいたします。</p>		



発言順位	5	議員名	寺井吉広(真誠会)
発言事項	<p><b>1 障害者雇用水増し問題について</b></p> <p>(1) 障害者雇用の現状について  (要旨) 本市は、法定雇用率の遵守はもとより、障害の種別、程度等にかかわらず、できるだけ門戸を広げた積極的かつ計画的な採用に取り組んでいくとしていたが、現状はどうか。また、水増しはないのかを問う。</p> <p>(2) 障害者雇用の今後について  (要旨) 障害者雇用については、これからも行政が積極的に行っていく必要がある。本市の今後の方針を問う。</p> <p><b>2 災害対策について</b></p> <p>(1) 今年の大規模地震・台風を受けての災害対策について  (要旨) 本市においても、求められる災害対策のあり方や、避難情報の発令基準など、対応すべき新たな課題や問題点が明らかになったのではないかと。このたびの地震や台風災害を踏まえて、今後の災害対策についてどのような課題を把握しているのか。</p> <p><b>3 熱中症対策について</b></p> <p>(1) 市民への啓発について  (要旨) 今年の夏は、記録的な猛暑となった。連日、熱中症とみられる症状で救急搬送される人が相次いだ。本市における市民に対する熱中症予防の啓発や注意喚起、またハード面での対策はどのようになっているのか。</p> <p>(2) 学校園における対策について  (要旨) 全国で子どもが熱中症の症状を訴えて病院に救急搬送されるケースが後を絶たない。子どもは体温調節機能が未発達で熱中症になりやすい。本市の学校園での熱中症対策はどのように行っているのか。</p>		

発言順位	6	議員名	絹川 和之(公明党)
発言事項	<p><b>1 中核市移行後の現状と今後の取り組みについて</b></p> <p>(1) 人件費及び施設整備費の現状について  (要旨) 昨年9月の本会議での中核市へ移行に伴い財政面で市の負担増が危惧されるのではとの質問に対し、移行事務にかかる経費は地方交付税で措置されるため過度な財政負担は生じないとの答弁があったが、当初の見込みどおりに進んでいるのかを問う。</p> <p>(2) 子育て支援の現状と見通しについて  (要旨) 本市は、こどもを核とした総合的な支援に取り組んできたところであるが、特に来年開設予定の児童相談所について、改めてその意義と円滑なスタートに向けた準備状況を問う。</p> <p>(3) 今後の取り組みについて  (要旨) 中核市となり、来年は市制施行100周年も迎えることから、今後のさらなる活性化に向けたまちづくりの方針・取り組みを問う。</p> <p><b>2 犯罪被害者等支援の取り組みについて</b></p> <p>(1) 本市における支援のさらなる充実について  (要旨) 神戸市では本年7月に条例を改正して、本市にはない支援の実施や取り組みの拡充を行ったが、本市の見解を問う。</p> <p><b>3 災害発生時の避難行動について</b></p> <p>(1) 市民が必要な避難行動をとるための取り組みについて  (要旨) 土砂災害警戒情報等の気象情報や避難勧告等の避難情報の市民への伝達はどのように行っているのか。</p> <p>(2) 避難行動のあり方と取り組みの強化について  (要旨) 土砂災害警戒情報や避難勧告を発令しても市民一人一人の受け止め方に違いがある中、市民が適切な避難行動を取れるよう、取り組みを一層強化する必要があると考えるが、見解を問う。</p> <p><b>4 子どもの安全確保に向けた取り組みについて</b></p> <p>(1) 台風や大雨等にかかる警報発令時の対応について  (要旨) 登校後に台風や大雨にかかる警報が出された場合の対応について問う。</p> <p>(2) 地震発生時における対応について  (要旨) 大雨等と違い、いつ発生するかわからない地震発生時の対応について問う。</p>		

発言順位	6	議員名	絹川 和之(公明党)
発言事項	<p><b>5 県道明石高砂線の交通安全対策の推進について</b></p> <p>(1) 県道明石高砂線に対する現状認識と取り組みについて  (要旨) 東播磨地域社会基盤整備プログラム等に基づき整備が進められてきたが、歩道整備については不十分と考える。交通安全対策についての取り組み状況を問う。</p> <p>(2) 道路を取り巻く社会状況の変化を踏まえた対応について  (要旨) 高齢社会が進展する昨今、道路のバリアフリー化は喫緊の課題であるが、自転車対策など、現状認識と今後の取り組みについて問う。</p>		

発言順位	7	議員名	中西 礼皇(未来市民)
発言事項	<p><b>1 市役所新庁舎整備検討について</b></p> <p>(1) 新庁舎に求める機能は何か。  (要旨) 新庁舎は市民が集まる場所と考えるのか、それとも行政機能や現状の面積だけをもとに積算するのか。</p> <p>(2) 建てかえ候補地の選定、絞り込みについて  (要旨) 候補地の選定、分散配置の組み合わせについて、どのように絞り込んでいくのか。</p> <p>(3) 東仲ノ町の再開発について  (要旨) 新庁舎整備検討の現実的な案になり得るのか。</p> <p>(4) 新庁舎整備検討への市民参画について  (要旨) 検討段階からの市民参画をどのように捉えているのか。</p> <p>(5) 財源について  (要旨) 庁舎建設基金を積み立てるべきである。</p> <p><b>2 放課後児童クラブについて</b></p> <p>(1) 夏休み期間等に放課後児童クラブで昼食を提供することについて  (要旨) 夏休み等の長期休業で放課後児童クラブを利用する家庭では弁当持参の負担が大きい。昼食の提供やあっせんが求められている。</p> <p>(2) おやつの方針等について  (要旨) おやつの方針、実績への評価は。また、方針やガイドラインの必要性に対する認識を問う。</p>		

発言順位	8	議員名	尾仲 利治(民主連合)
発 言 事 項	<p><b>1 災害に対する備えについて</b></p> <p>(1) 本市の安全対策をどのような視点から捉えているか。            (要旨) この夏、西日本豪雨災害で多くの方が被災されたが、常に備えをもって事に当たることが大切であると思う。本市は、安全対策において、地形、気候、風土などのさまざまな要因のうち何を重点項目として捉えているか、市の見解を問う。</p> <p>(2) 避難場所を見直す計画はあるか。            (要旨) 災害時の避難場所について、海拔が低いなど、かえって危険であると思われるような所もあるが、避難場所の設定についてどのように考えているのか、市の見解を問う。</p> <p>(3) 新庁舎に対する安全・安心の考え方について            (要旨) 阪神・淡路大震災を経験し、東日本大震災等を見聞きしている者にとって、より安全・安心な新庁舎を希望することは当然であるが、新庁舎に対する安全・安心の考え方について、市の見解を問う。</p> <p>(4) 災害情報を市民にいかに早く伝えるか。            (要旨) 災害のニュースを見ていると、災害情報の市民への伝達が遅れて大惨事になることが多い。自治体が出す災害情報を全く知らなかったということがないように、本市ではどのように対応しようとしているのか。</p> <p>(5) 災害ボランティアの受け入れ態勢について            (要旨) 本市でも、緊急事態発生時には全国から災害ボランティアを受け入れることになると思うが、その受け入れ態勢についてどのように考えているか。</p> <p><b>2 子ども達が生き生きと学校生活を送れる環境整備について</b></p> <p>(1) 学校施設の安全点検はきちんとできているか。            (要旨) 高槻市では、地震により小学校のブロック塀が倒れ、児童が下敷きになり命を落としている。その後の調査でブロック塀が違法建築であることが分かり、全国一斉にブロック塀の点検が行われたが、本市はどのような状況だったのか。また、ブロック塀に限らず学校施設・設備はどのような状況であったのか。</p> <p>(2) 小中学校の特別教室の空調設備はいつまでに設置できるのか。            (要旨) 今年は尋常ではない暑さの夏であった。普通教室から始まった空調設備の設置は、本年度で全小中学校において完了するが、特別教室については、どのように計画しているのか。</p>		

発言順位	8	議員名	尾仲利治(民主連合)
発言事項	<p>(3) 幼稚園の空調設備の設置計画について  (要旨) 市立幼稚園の園児も今年は大変暑い夏を体験しているが、幼稚園の空調設備の設置についてはどのように計画しているのか。</p> <p>(4) プールにおける緊急時の取り組みについて  (要旨) 緊急時に各小中学校のプールから直接119番へ連絡して救急車の出動要請ができる設備を早期に整備できないか。本年3月議会でも本会議質問を行ったが、その後の取り組み状況について改めて問う。</p> <p>(5) 中学校給食について  (要旨) 安全・安心な学校給食が一番であると思うが、異物混入が後を絶たないと聞く。現状と対策について問う。</p>		

発言順位	9	議員名	松井久美子(公明党)
発言事項	<p><b>1 平成29年度決算状況について</b></p> <p>(1) 実質単年度収支が赤字に陥った要因について  (要旨) 一般会計において、実質単年度収支が平成26年度以来3年ぶりに赤字になった要因について聞く。</p> <p>(2) 財政状況に対する認識と今後の見通しについて  (要旨) 人口が増加し、歳入で固定資産税や個人市民税が増加している一方で、歳出で扶助費が増大している。今後も扶助費等の増大が見込まれるとともに、明石クリーンセンターの建てかえや市役所新庁舎整備等の事業費も必要となる。これらを踏まえ、本市の財政状況に対する認識と今後の財政運営についての見通しを聞く。</p> <p><b>2 放課後児童クラブのあり方について</b></p> <p>(1) これからの放課後児童クラブのあり方について  (要旨) 子育て世帯の転入が増加する中、就学前の保育所待機児童対策と同時に放課後児童クラブの待機児童対策が必要であると考えるが、市の認識を問う。</p> <p>(2) 放課後児童クラブの質の向上について  (要旨) 指導体制の充実や指導員の育成、資質の向上といった放課後児童クラブの質の向上に向けた具体的な取り組みを問う。</p> <p><b>3 小学生の重過ぎるランドセル対策について</b></p> <p>(1) 小学生の重過ぎるランドセルについての認識は。  (要旨) 小学生のランドセルの総重量が平均5～6キログラムに上り、健康被害が懸念される。ランドセルの中身を軽くする工夫が必要であると考えるが、市の認識を問う。</p> <p>(2) 文部科学省からの事務連絡を受けての対応について  (要旨) 9月6日付の文部科学省からの事務連絡「児童生徒の携行品に係る配慮について」を受けて、早急な対応策について聞く。</p> <p><b>4 市道魚住2号線・山手環状線の完成に伴うバス路線について</b></p> <p>(1) 市道魚住2号線・山手環状線の完成に伴うバス路線について  (要旨) 今年12月に市道魚住2号線・山手環状線が完成予定である。魚住町金ヶ崎、魚住町長坂寺、大久保町西脇地域からJR大久保駅へのアクセスを求める声が多いことから、バス路線の導入が必要であると考える。</p>		

発言順位	10	議員名	丸谷 聡子(未来市民)
発言事項	<p><b>1 災害時における避難等の対応について</b></p> <p>(1) 避難における災害弱者への支援について  (要旨) 西日本豪雨や台風20号、21号接近時において、避難行動要支援者名簿は活用されたのか。今後は、災害情報110番電話の設置、障害に応じた情報提供、防災無線の活用が必要ではないか。さらには、市民の手挙げ方式による防災110番の家、すなわちプチ自宅避難所設置での助け合い、マイ避難マップの作成等、災害時の避難における自助、共助の積極的な仕組みづくりをしてはどうか。市の見解を問う。</p> <p>(2) 早期避難の呼びかけについて  (要旨) 広島県は、西日本豪雨において、避難勧告や避難指示を出していたが、実際に避難したのは全体の0.3%にすぎなかったと発表した。この教訓を踏まえ、日頃から避難勧告が出ればすぐに安全なところに避難するという習慣づけが必要であると考え。今後は、避難訓練の要素も取り入れ、早めの避難を積極的に呼びかけてはどうか。避難所を開設する側も訓練になり、課題も明確になるのではないか。市の見解を問う。</p> <p>(3) 指定緊急避難所にペットボトル飲料水を備蓄することについて  (要旨) 自主避難の場合、寝具や食料は各自で用意することとなっているが、障害者や高齢者、徒歩で避難所に来られる方は、持参できない場合もある。臨機応変な対応が必要ではないか。平成29年3月議会で、防災倉庫に備蓄している約5,500本の緊急非常用ペットボトル飲料水を小中学校の指定緊急避難所に配置することを検討していくとの答弁があったが実現していない。緊急非常用として早急に常備しておく必要があるのではないか、市の見解を問う。</p> <p>(4) ハザードマップについて  (要旨) 本市では中国、韓国等のアジア圏の方も多く生活している。子どもや高齢者にもわかりやすい、ハザードマップのやさしい日本語版を早急に作成すべきだと思えるが、進捗状況を聞く。また、より精度の高いマイ避難マップを作成するためにも、新しい道路や宅地開発等を反映した最新のハザードマップを市民に示していく必要があると思えるが、市の見解を問う。</p>		



発言順位	10	議員名	丸谷 聡子(未来市民)
発言事項	<p><b>2 子どもたちが自分らしくいられる学校以外の多様な学びの場づくりについて</b></p> <p>(1) 多様な学びに対する認識について  (要旨) 平成28年12月に公布された教育機会確保法では、学校以外での多様な場で学習をする子どもに、個々の状況に応じた学習活動が行われるように支援し、国及び地方公共団体は、必要な財政上の措置を講ずるように努めるものとする等を定めている。多様な学びの機会創出について、本市はどのように認識しているのか、見解を問う。</p> <p>(2) 適応指導教室の現状と課題について  (要旨) 本市の適応指導教室の利用状況や課題について見解を問う。</p> <p>(3) 中高生世代交流施設AKASHIユーススペースの活用について  (要旨) 中高生世代交流施設は、学校に行きづらい子どもたちに利用されているのか。支援体制や専門職員の配置はできているのか。学校に行きづらい子どもたちの多様な学びの機会創出として、フリースクール的な活用を考えてはどうか、市の見解を問う。</p> <p>(4) 公設の子どもの居場所(生きる場所)設置について  (要旨) 川崎市では、公設民営のフリースクールを設置しており、誰もが無料で利用することができる。また、併設している子ども夢パークは、自然素材や道具を使い自由な発想で遊びを創り出し、子どもたちの生きる力を身につけさせる仕組みが随所にちりばめられている。本市においても、このような子どもたちの自由な育ちの場が必要だと考えるが、見解を問う。</p> <p><b>3 市制100周年記念事業における市民参画について</b></p> <p>(1) 100周年記念事業決定のプロセスについて  (要旨) 8月31日に開催された明石市制100周年記念事業夢会議において6つの主な事業が提案されたが、市民の声をいつ、どのような方法で聞き、どの事業に反映させたのか。今後も広く市民の声を聞く機会はあるのか、市の見解を問う。</p> <p>(2) みんなでつくる取り組み・冠付けについて  (要旨) 100周年事業にふさわしい事業に対して冠付けをするとあるが、どのような仕組みや支援体制を考えているのか。100周年は、シビックプライド(=都市に対する市民の誇り)を醸成させるよい機会である。岡崎市の市民プロジェクト支援事業のように、市民団体や法人などが自ら企画して実施する事業を募集し、助成金を設ける等の取り組みを行うべきではないか、市の見解を問う。</p>		

発言順位	10	議員名	丸谷 聡子(未来市民)
発言事項	<p>(3) みんなでつくる取り組み・各種ボランティア団体等への働きかけについて  (要旨) 各種ボランティア団体等への働きかけを積極的に行うとともに、個人のさまざまな特技を生かすことができる機会づくりを行うとあるが、具体的にどのようなことを考えているのか。また、市が一方的にお願いするのではなく、団体や個人から提案をいただきながら丁寧に進めていく必要があると思うが、市の見解を問う。</p> <p>(4) 時のまち明石として、市民一人一人が次代に思いをつなげる事業について  (要旨) 次の100年に向けて、今、自分にできることや、100年後の明石市民へのメッセージを多くの市民から寄せてもらう等、時のまち明石だからこそできる、子どもも大人も参画できる未来に向けた取り組みが必要ではないか、市の見解を問う。</p> <p><b>4 ステップファミリーへの支援について</b></p> <p>(1) ステップファミリーに対する認識と対応について  (要旨) 夫婦の一方、あるいは双方が子どもを連れて再婚したときに新たに築かれる家族、いわゆるステップファミリーに対する認識と対応について、市の見解を問う。</p> <p>(2) ステップファミリーへの支援について  (要旨) ステップファミリーは、初婚家庭とは違った配慮や工夫が必要となる。その特徴や課題を理解し、特に子どものケアについて考えていくことが重要である。まずは、ステップファミリー特有の悩みに対する相談窓口の設置や問題解決の糸口となる知識や対応方法を伝える冊子の作成が必要だと考えるが、市の見解を問う。</p>		

発言順位	11	議員名	国出拓志(公明党)
発言事項	<p><b>1 介護保険を3年間利用しなかった人に、何かしらの還元ができないか</b></p> <p>(1) 介護保険を3年間利用しなかった人に、少しでも還元できる方法はないか。</p> <p>(要旨) 6月議会の本会議では市長から前向きな答弁があったが、具体的にはどのような方法で還元される予定なのか。また、具体的なスケジュールはどのように考えているのか。</p> <p><b>2 市民のヘルスケアに係るポイント制の導入について</b></p> <p>(1) 介護ボランティア活動の実績に応じたポイント制導入の検討状況と今後の取り組みについて</p> <p>(要旨) 介護ボランティア活動の実績に応じたポイントの付与について、平成25年3月の本会議においては、その導入や運用における課題の整理など、国の動向や他都市の取り組み状況を見据えながら社会福祉協議会と連携して研究を進めていきたいとの答弁があったが、その後の検討状況はどうなっているのか。</p> <p>(2) 健康ポイント制の導入をしないか。</p> <p>(要旨) 特に健診事業においては、受診率が低迷していることから、市民一人一人の健康寿命を延ばすことを目的として、受診実績に応じたポイント制を導入することにより、少しでも市民の関心を高め、受診率の向上につなげることができないか。</p> <p><b>3 各種保険証の送付方法について</b></p> <p>(1) 各種保険証を簡易書留で送付できないか。</p> <p>(要旨) 国民健康保険被保険者証や介護保険被保険者証、さらには後期高齢者医療被保険者証といった個人情報に記載されたもので、特に高齢者の方が受け取る可能性があるものについては、確実に本人に届くよう、簡易書留で送ることはできないか。</p>		

発言順位	12	議員名	北川 貴 則 (未 来 市 民)
発 言 事 項	<p><b>1 「日本一安全なまち明石」の実現のための危機管理について</b></p>		
	<p>(1) 自然災害を想定した危険箇所の把握と命を守る安全対策について  (要旨) 先日の台風20号及び21号は近畿に上陸し、猛威を振るいました。自然災害の被害規模は増大し続けています。本市での危険箇所の把握と安全対策についてお聞きします。</p>		
	<p>(2) 老朽化した船上浄化センターの安全対策について  (要旨) 稼働40年を超え老朽化している船上浄化センターが風水害等で機能不全を起こすと、明石駅前をはじめ、市役所を含む東部エリアでトイレすら流せない状況になると聞いています。ライフラインを堅持することは、安心して暮らせるまちづくりの基本です。船上浄化センターの安全対策についてお聞きします。</p>		
<p><b>2 福祉の充実について</b></p>			
<p>(1) 障がい者のための就労支援について  (要旨) 障害者雇用促進法では、国や自治体、企業に一定の割合の障がい者を雇用するよう義務付けていますが、先日、中央省庁で40年以上にわたって雇用割合を水増ししていたことが発覚しました。本市の対応は大丈夫なのでしょうか。就労支援として率先して民間企業に協力を促すなど、誰もが安心して暮らせる社会づくりへの取り組みもあわせてお聞かせください。</p>			
<p>(2) 保育所の待機児童ゼロについて  (要旨) 本市では一体いつになったら、保育所の待機児童がゼロになるのでしょうか、お聞かせください。</p>			
<p><b>3 市民病院について</b></p>			
<p>(1) 十分な機能を果たしているか。  (要旨) 患者中心の、安全で高度な医療を提供し、市民の生命と健康を守り、市民からの信頼に応えるという基本理念のもとで救急医療や地域医療機関との連携にさらに力を入れているとは思いますが、地方独立行政法人へ移行後の成果はどれだけ上がっているのでしょうか、お聞かせください。</p>			

発言順位	12	議員名	北川 貴 則 (未 来 市 民)
発 言 事 項	<p>(2) 平成31年度以降の医師確保、診療科目の維持について  (要旨) 平成31年度以降も、市民病院で必要な医師の確保や診療科目の維持ができるのでしょうか。医療の高度化が進むなか、30万都市の市立の中核病院にふさわしい姿が示されることを願いながら、今後の取り組みについてお聞きします。</p> <p>(3) 時代に応じた施設の拡充について  (要旨) 高度な医療を行い、信頼される市民病院であるためにも、健全な病院運営や最新の技術の導入の観点が重要と考えます。健全な病院運営のためには安定した収入の確保が必要ですが、そのためには時代の流れやニーズを把握し柔軟な対応をすることが不可欠です。また、現在の建物並びに設備は市民の皆さんが十分満足するものになっているのでしょうか。今後の取り組みについてお聞かせください。</p> <p><b>4 婚活支援について</b></p> <p>(1) 婚活支援の取り組みについて  (要旨) ある自治体では、気軽に参加できる少人数のランチ合コンや、多様なライフスタイルに合わせたイベントを、大きな予算をかけずに行い、成果を上げています。結婚、出産、子育て、就労など、郷土愛が増し、定住にもつながる結婚のための出会いづくり、本市オリジナルの婚活支援のその後の取り組みをお聞きかせください。</p>		

発言順位	13	議員名	楠本美紀(日本共産党)
発言事項	<b>1 保育所待機児童問題について</b>		
	<p>(1) 待機児童の現状と解消の見通しについて  (要旨) 今年4月1日現在、571名と全国1位になってしまった待機児童の現状と解消の見通しについて問う。</p> <p>(2) 子どもの発達に欠かせない園庭について  (要旨) 市内の保育所の園庭の現状はどうか。園庭がない保育所があることに対する市の認識と、その場合に代替として使う公園は子どもが安全に使える場所になっているのかについて問う。</p> <p>(3) 幼稚園の3歳児保育と預かり保育について  (要旨) 小規模保育所入所後の3歳以降の受け皿として幼稚園での3歳児保育と預かり保育が始まったが、待機児童解消につながっているのか。</p> <p>(4) 送迎保育ステーション事業について  (要旨) 送迎により1日に何回も場所を移動することが幼い子どもにとって身体的、精神的負担とならないか。</p>		
	<b>2 熱中症対策のためのエアコン設置について</b>		
発言事項	<p>(1) 生活保護世帯へのエアコン設置が認められるようになったことについて  (要旨) 本年度から厚生労働省の通知を受けて一定の条件を満たす場合にクーラーの購入費(5万円)の支給が認められるようになったが、通知の適用日以前に受給を開始した方でエアコンが必要な方への対応はどうなるのか。</p> <p>(2) 生活保護世帯への電気代補助の実施について  (要旨) エアコンがあっても電気代を気にして使用しない事例もある。電気代補助等について検討する必要があると考えるが、市としてどう考えるか。冬季加算制度と同様に夏季加算制度も新設するよう、国に要請することも必要ではないのか。</p> <p>(3) 生活保護世帯以外の方への対策について  (要旨) 東京都荒川区では、エアコン未設置の高齢者のみの世帯等の熱中症弱者に対し助成を実施しているが、本市では生活保護を受給していない低所得者への対策をどう考えているのか。</p>		
	<b>3 平和行政について</b>		
	<p>(1) 「核非武装都市宣言」とヒバクシャ国際署名について  (要旨) 本市は昭和35年8月に核非武装都市宣言をしている。本年9月2日現在で1,155の自治体首長が署名しているヒバクシャ国際署名は、この宣言をさらに発展させたものと思うが、市の認識を問う。</p>		

発言順位	13	議員名	楠本美紀(日本共産党)
発言事項	<p>(2) 明石市にも平和資料館の設置を。  (要旨) 73年前、本市も空襲を受け全市街の61%が焼失し、死者約1,500人、負傷者約1,200人の大きな被害を受けた。体験者も高齢となっており、戦争の悲惨さを風化させないためにも平和資料館の設置が必要ではないかと考えるが、市の認識を問う。</p>		

発言順位	14	議員名	家根谷 敦子(スマイル会)
発言事項	<p><b>1 コミュニケーション支援について</b></p> <p>(1) 障害者配慮条例における合理的配慮の提供に係る公的助成について  (要旨) 障害者コミュニケーション条例に続いて、配慮条例が施行されて3年目に入った。事業者等が障害者に対する合理的配慮を提供する際のコミュニケーションツールの作成を初めとする費用に係る公的助成制度の利用状況と今後の展開についてお尋ねしたい。</p> <p>(2) コミュニケーション支援ボードの導入について  (要旨) 他市では、災害時や救急時などにスムーズにコミュニケーションを図るためのコミュニケーション支援ボードが導入されている。本市でのコミュニケーション支援ボードの導入予定などについてお尋ねしたい。</p>		



発言順位	15	議員名	大西 洋 紀 (青 風 会)
発 言 事 項	<p><b>1 災害廃棄物処理計画について</b></p> <p>(1) 災害廃棄物処理計画の策定期間はいつごろか。  (要旨) 新聞報道で策定作業中と回答していたが、同様の回答をしていた他の自治体はおおむねの策定期間を表明している。本市の策定期間はいつ頃になるのか。</p> <p>(2) 災害廃棄物処理計画の具体的な内容はどのようなものか。  (要旨) 各自治体がそれぞれ独自性をもって策定すると思われるが、本市の内容は具体的にどのようなものになるのか。</p>		

発言順位	16	議員名	辻本達也(日本共産党)
発言事項	<p><b>1 生活道路・通学路の安全対策について</b></p>		
	<p>(1) 大久保北部における朝夕のラッシュ時の通り抜け車両対策について (要旨) 本年3月議会で対策を求めたが、その後の取り組みを問う。</p> <p>(2) 山手環状線西工区完成後の影響について (要旨) 完成後における通り抜け車両の変化についてどのように考えているか。特に、魚住町金ヶ崎周辺の通り抜け車両に対する認識を問う。</p> <p>(3) 山手環状線大窪工区について (要旨) 現在施工中の西工区が完成し供用開始となれば、残りは大窪工区のみとなる。全線開通により得られる効果は大きいものとする。今後の見通しを問う。</p>		
発言事項	<p><b>2 風水害への対応について</b></p>		
	<p>(1) 各種避難情報の発令について (要旨) 避難準備情報、避難勧告、避難指示などさまざまな情報があるが、もっと市民にわかりやすい表現に改める必要があるのではないかと考える。</p> <p>(2) 風水害の発生を想定した取り組みについて (要旨) 各地域では、震災を想定した訓練など、さまざまな取り組みが行われているが、風水害発生時の対応については十分な取り組みが行われているとは言えないのではないかと考える。</p> <p>(3) 発災時の行政と地域コミュニティの役割について (要旨) 職員数が大幅に減少している今日、行政として支援ができる範囲を明確に示しておく必要があるのではないかと考える。住民同士で避難が困難な人の移動を援助するコミュニティ避難やコミュニティ避難所についての認識を問う。また、垂直避難と垂直方向への移動が困難な住民への対応、緊急避難できる建物の確保について問う。</p> <p>(4) 命のカプセルについて (要旨) 緊急時に必要な連絡先やかかりつけ医などの情報を入れておく命のカプセルの配布について市の考えを問う。</p> <p>(5) 避難所の環境整備について (要旨) 災害時に避難所となる体育館へのエアコン設置とトイレのバリアフリー化について問う。</p>		
発言事項	<p><b>3 国民健康保険料等の賦課徴収事務について</b></p>		
	<p>(1) 公職者の保険料の徴収について (要旨) 適切に行われているか。</p>		

発言順位	16	議員名	辻本達也(日本共産党)
発言事項	<p>(2) 公職者の保険料滞納に対する対応について  (要旨) 滞納があった場合の対応はどうか。</p> <p>(3) 公職者の報酬の差し押さえについて  (要旨) 過去に市が不動産の差し押さえを行った例があるが、その際、報酬を差し押さえなかったのはなぜか。</p> <p><b>4 市政運営に対する評価と次期市長選挙への出馬の意向について</b></p> <p>(1) この間の市政運営について  (要旨) 市長は、どのように評価しているか。</p> <p>(2) 次期市長選挙への出馬について  (要旨) 現時点における考えを問う。</p>		